

予測文法研究

—後続文完成課題におけるJSLとJFLの予測能力について—

津留崎由紀子・中嶋敦子・金志宣・近藤彩・齋美智子・広田妙子

要旨

日本語における予測文法を解明するため、内田ほか(1995)では、日本語母語話者における「が」と「は」の予測機能を考察し、「が」と「は」が述語の種類や時制、付加される名詞句のスコープの範囲、後続する第二文の主題に関わる予測機能をもつことを明らかにした。津留崎ほか(1996)では、内田ほかと同一調査文を用い、日本語母語話者と日本語学習者の予測を比較対照したが、本研究では、さらに第二言語としての日本語(JSL)学習者と外国語としての日本語(JFL)学習者について調査し、考察を行った。その結果、JFL学習者は、既存の知識があれば母語話者に近い予測もできるが、未知の事柄については全く予測が困難になること、JSL学習者は、提示された言語情報に関する不十分な知識を、様々な場面で得た情報で補って予測していること、JFL学習者の予測文は、連体修飾節が少なく、文が短いこと等が明らかになった。

[キーワード] 予測、JSL、JFL、言語知識 言語外知識

1 先行研究および本研究の目的

Oller(1979, 1983)は、人には既存の文法知識を活用し、与えられた言語情報から、次にくる言語情報を予測できる能力があるとしている。Oller(1979)では、その予測能力のうち、言語を構成する諸要素の関係を予測する能力を予測文法(expectancy grammar)、言語と言語外のコンテキストとの関係を予測する能力を語用論的予測文法(pragmatic expectancy grammar)と呼んだ。

日本語におけるこのような予測能力に関する実証研究に、寺村(1987)、市川(1993)がある。寺村(1987)は、日本語母語話者を対象に、ある文を文節ごとに区切って冒頭から順次提示し、後続部分を予測させるという実験を行った。寺村の実験結果から、(1)日本語母語話者は、かなり早い段階でその述語の形態、表現内容、テンス等を予測し、述語の形態とテンスの予

測は連動しているらしいこと、(2)予測内容は言語外知識も含むこと等の点が指摘された。寺村と同様の実験を日本語学習者に対して行い、学習者と母語話者の予測の仕方の相違を検討したのが市川(1993)である。市川の実験では、学習者の予測は、(1)言語形式においてばらつきが大きく、語句・表現は母語話者より限られている、(2)述語が同一の言語形式に収束していく速度は母語話者より遅い、(3)新しい語に注意がいき、それまでの文の流れを忘れて予測する等の点が指摘されている。

これらの研究をふまえ、内田ほか(1995)は、先行研究とは異なる調査文を用いて、日本語母語話者を対象に、日本語の助詞「が」と「は」の予測機能を明らかにする目的で実験を行った。その結果、「が」と「は」が、述語の状態性／動作性と時制、付加される主語名詞句のスコープ、後続する第二文の主題の選択に関わる予測機能をもつことが明らかにされた。津留崎ほか(1996)では日本語学習者を対象に、内田ほかと同じ調査文を使って実験を行い、日本語学習者では、(1)述語の性格と時制との結びつきが母語話者ほど強くないこと、(2)「が」が付加される主語名詞句のスコープを文末まで広げようとする、(3)言語の背景にある社会的知識の有無が予測に影響を与えること等が明らかになった。

本研究は、津留崎ほかの考察結果をふまえ、J S L 学習者(以下 J S L と略す)と、J F L 学習者(以下 J F L と略す)の予測の仕方にどのような相違が見られるのか、どのような言語要素、言語外要素が予測能力と関わっているのかを明らかにすることを目的としている。

2 方法

内田ほか(1995)、津留崎ほか(1996)と同一の以下の調査文を使用し、分析データを収集した。「/」は文を切った箇所をさす。

浦和市のA子さん(60)が/都心の/日本橋に通勤していた/ころ、/
きまった/車両のきまった/ドアの横に立って、/日本橋まで通う/
目の/不自由な女性と/毎朝一緒に/なった。

データ収集には、調査文を「/」のところまで提示し、後続する文を予測して記入してもらう方法をとった。さらに、実験文が全て提示された後第一文の内容を知った上で、それに続く第二文を予測して書いてもらった。

被験者は J S L 20名と J F L 38名。J S L は日本の大学や日本語学校な

どで学ぶ学生で、小出(1993)のクローズ・テスト(テスト番号2-3)を行い、原文との一致を正解とする正誤法で採点した結果、60点満点で平均36.1点(60.2%)であった。JFLは香港大学日本語研究科3年次学生、日本語学習時間300時間。クローズ・テストの結果は平均32.3点(53.8%)であった。テストの結果をもとにt検定を行ったところ、日本語能力による有為差は認められなかった。

3 分析結果および考察

分析にあたり、「よく健康です」のような文法的に不適格な文や、「ところに」だけで終わっている未完成文も、文末述語や後続する品詞のみをみたい場合には分析可能文として考察の対象とした。典型的な文を例文として取り上げたが、データ全体については、添付資料を参照されたい。なお、母語話者の数値については、内田ほか(1995)のデータを使用した。

(1) 浦和市のA子さん(60)が

- ・ JSL ①昨日の事故で死亡しました。
- ②寝ている。
- ③利口です。
- ・ JFL ④きのう自宅で殺された。
- ⑤子供と一緒に住んでいる。
- ⑥とてもやさしいです。

<表1>

	動作性	状態性	過去	非過去
JSL(20)	60.0%	40.0%	55.0%	45.0%
JFL(35)	45.7%	54.3%	48.6%	51.4%
母語話者(42)	83.7%	16.3%	73.9%	26.1%

動作性過去時制の述語が多いのは、母語話者>JSL>JFLの順である。母語話者で動作性過去時制と結びつきやすかった格助詞「が」をもつ名詞句が、JFLでは状態性非過去時制の述語の方に、多く結びついている。JFLの予測文に、⑥のような形容詞や名詞述語が多かった(28.6%)ためと考えられる。動詞以外の述語を予測したものは、母語話者は0、J

SLは③1例のみであった。

(2) 浦和市のA子さん(60)が都心の

- ・ JSL ①公園で散歩していた。
- ②ホテルに泊っています。
- ・ JFL ③アパートにすんでいます。
- ④高層ビルからとびおりました。

<表2>

	動作性	状態性	過去	非過去
JSL(20)	35.0%	65.0%	35.0%	65.0%
JFL(35)	48.6%	51.4%	45.7%	54.3%
母語話者(43)	33.3%	66.7%	37.5%	62.5%

ここでは、JSLと母語話者のみ、①②のような状態性非過去時制がふえている。JFLの数値はあまり変化していないが、(1)で多くみられた動詞以外の述語が一例のみになり「都心の〇〇で／に～している」という③のような文が多くなっていて、母語話者やJSLの傾向に近づいている。

予想された文の内容をみると、次のようになる。

報道記事 (うち事件・事故・地震)

	JSL	JFL	母語話者
(1)	5, 0 (5, 0) %	22, 8 (17, 1) %	76, 8 (60, 5) %
(2)	0 %	14, 3 (11, 4) %	56, 1 (43, 9) %

母語話者は、(1)では(60)の表記から4分の3以上が報道記事によくある内容・文体を予測しているが、(2)で「都心の」という漠然とした語が現れて報道記事的文体や事件性の内容が減少している。JFLでも報道記事的予測が(1)に9例あるが、JSLでは、報道記事の予測は(1)の①1例のみで、(60)の表記の意味をほとんど意識していなかったと思われる。この点ではJFLの方がJSLより母語話者に近いといえる。ただし、JFLでも多くの文は報道記事と結びついてはいない。また、報道文=事件・事故記事ととらえているものが多く、(2)で母語話者に事件性のない報道文的文体が現れているような変化は見られなかった。

(3) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していた

- ・ JSL ①が新宿に転勤した。
②時、10年ぶりに友達と会った。
- ・ JFL ③ので、その辺の環境をよく知っている。
④そして、かいものをした。
⑤ところに、じしんをおこりました。

<表3>

	名詞を続けたもの	接続助詞を続けたもの	それ以外
JSL(20)	65.0%	20.0%	15.0%
JFL(38)	86.8%	5.3%	7.9%
母語話者(38)	95.1%	4.9%	0.0%

JSLに比べて、JFLは名詞に接続するものが圧倒的に多く、母語話者に近い傾向を示している。接続助詞を続けたものがJSLで4例、JFLで2例あるが、JSLは①のように全て逆接を表す「が」に接続させているのに対し、JFLでは「が」は1例もなく、「ので」「から」が各1例ずつとなっている。④のように接続詞を続けているものがJSL、JFLともに1例ずつ見られるが、文法的に不適格な文である。また、JFLに提示部分に句点・読点を後続させているものも1例ずつ見られることから、JFLは文を短く切ろうとする傾向が強いと推測される。

次に、<表3>で名詞を続けたもののうち、その名詞が「通勤していた」の主語になっているかどうかを見る。例えば、「会社のどうりょうときのうのばん飲みに行った」では、「どうりょう」が、主語となっている。

<表4>

	主格関係をもつ	主格関係をもたない
JSL(13)	23.1%	76.9%
JFL(33)	36.4%	63.6%
母語話者(36)	56.4%	43.6%

母語話者で、主格関係をもつ名詞を予測しているものが半数以上を占めるのに対し、JSL・JFLではともに主格関係をもたない名詞を予測したものが多く、同じ傾向を示している。

主格関係をもたない名詞のうち、時を表す名詞を介して時を表す副詞節を形成しているものが母語話者、学習者ともに多い。JSLは「～時」という表現に集中しているが、JFLではそれ以外に「ところ」「あいだ」などのバラエティーがある。文法的不適格文、未完成文も含まれてはいるが、時を表す表現のバラエティーという点では、JFLの方が母語話者に近い傾向を示している。JSLは時を表す語を一つに限定する簡素化のストラテジーを用い、JFLはストラテジーを用いていないともいえる。

(4) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、

- ・ JSL ①とても親切な人に会いました。
- ②電車事故が起きた。
- ③彼は課長でした。
- ・ JFL ④私と偶然会いました。
- ⑤交通事故があった。

<表5>

	新たな主語が現れる	現れない	有情物主語	非情物主語
JSL(20)	15.0%	85.0%	66.7%	33.7%
JFL(38)	18.4%	81.6%	14.3%	85.7%
母語話者(43)	56.0%	44.0%	19.0%	81.0%

ここでは提示部分の後にA子さん以外の新たな主語が現れるかどうか、現れた主語が有情物か非情物かを見る。新たな主語が現れないことではJSL、JFLは同じ傾向を示しており、母語話者とは対照的である。新たな主語のうち、報道文に現れやすいと思われる②⑤のような非情物主語は母語話者、JFLには高い割合で現れるが、JSLには少ない。JFLが報道文を意識した予測をしていることが、ここでも確かめられる。

(1) (2) で検討した報道記事の予測は、(3) (4) では以下のようなようである。

報道記事 (うち事件・事故・地震)

	JSL	JFL	母語話者
(3)	5, 0 (5, 0) %	25, 7 (25, 7) %	51, 3 (41, 0) %
(4)	10, 0 (10, 0) %	42, 8 (31, 4) %	14, 0 (14, 0) %

報道記事の予測という点で、JSLに比べてJFLの方が母語話者に近いことはここでも変わらないが、母語話者は(4)で「ころ」が現れると報道記事の予測が減り、A子さんが通勤していたころの日本橋の情景や当時の流行、社会風潮、A子さん自身の習慣などに話題を広げている。それに対しJFLの場合は逆に事件、事故等の予測が増えている。これは「ころ」という語の回顧的なニュアンスを母語話者が敏感に捉えているのに対し、JFLはそれが捉えきれず、引き続き報道文を意識し、「通勤していた」から、通勤途上で起こった事件・事故という内容を予測していることによるものと考えられる。

(5) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった

- ・ JSL ①時間にいつもこの公園を通ります。
 - ②ことは一つあったそうです。
- ・ JSL ③時間にラジオのニュースを聞くことにした。
 - ④、外の地方に住んだほうが良いと思われていました
 - ⑤計画を実行するはずだと思い出した。
 - ⑥あとで、郵便局によって行った。

<表6>

	時間・時刻	計画	こと	その他
JSL(20)	20.0%	5.0%	25.0%	50.0%
JFL(36)	8.3%	19.4%	16.7%	55.6%
母語話者(43)	46.5%	0.0%	2.3%	51.2%

母語話者においては、時間・時刻が約半数を占めており、残りは「場所電車」等様々な語句が用いられている。「きまった」を、「決定した」の意味で用いている例は、「きまったことは会社の課長に昇進したということだった」の1例のみで、他は「いつも同じ」という意味で捉えている。それに比べ、「決定した」の意味に解釈できる文がJSLでは8例(40%)、JFLでは21例(58.3%)あった。特にJFLでは「計画」を続けたものが多いことが特徴的で、これは、「計画を決める、計画が決まる」からきた「きまった計画」や「きまったこと」などの定型表現を、予測の際にもあてはめているということができる。大野ほか(1996)にも同様の指摘がある

(注1). また、④のように読点を続け、提示部分までで文を切っているものが4例あった。

内容的には、(4)までに見られた報道文の内容を持つ例が全くなくなっている。「きまった」の意味から判断して内容を変化させたものか、「きまった計画／こと」という定型表現をまず予測し、後続する内容が報道記事と結びつかなくなったものか、ここだけでは判断できない。

(6) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車両のきまった

- ・ JSL ①座席に座っていた。
 - ②時間にこなかったのでいらいらした。
- ・ JFL ③座位にすわった。
 - ④ところにすわっていました。
 - ⑤料理を食べていました。

<表7>

	座席・席	場所・所・位置	時間	人	その他
JSL(20)	60.0%	10.0%	5.0%	20.0%	5.0%
JFL(28)	32.1%	10.7%	3.6%	7.2%	46.4%
母語話者(43)	72.1%	16.3%	0.0%	2.3%	9.3%

母語話者では「きまった車両のきまった」から当然予想される「座席・席・場所」等が大部分で、JSLも「座席・席」の予測が多く、母語話者に近い。ただしJSLは、「きまった」が二回続くことにより範囲が限定されることを理解していない②のような文を予測するものがあった。JFLでも⑤のように、「きまった」が二回続くことの意味を理解していない文も見られた。しかしJFLでは、「きまった」の「いつも同じ」という意味を知らないと思われる文が多く、<表7>のその他は、一例以外は提示部分から予測されるはずのない非文か未完成文のみであった。全く予測ができなかったのか、未記入も10例あった。

また、ここでは③のような中国語からの借用が3例見られた。JFLは全体的にJSLより多くの借用が見られたが、語彙の不足を補うため、比較的安易に借用してしまうと考えられる。

(7) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車両のきまったドアの横に立って、

- ・ JSL ①外の景色をみながら仕事について色々考えました。
- ②知らない人がその二人を見ていた。
- ・ JFL ③思わぬある車が彼女の方向にむかってきた。
- ④ついに、電車にとびこんでしまいました。
- ⑤電車をまっていた。

この部分では、母語話者にA子さん以外の新たな主語が現れるものが31.0%あるのに対し、JSL、JFLとも、それぞれ2例、1例のみである。

後に続く動詞は以下のものであった。

JSL(21) 読む(9) 見る(4) 考える/きく(各3) 眺める/思う/ねる(各1)

JFL(38) 読む(7) みる/待つ(各4) 思い出す/食べる(各2) とびこむ/思う/むかう/考える/なくなる/おりる/きく(各1)

JFLで④⑤のように「待つ」や「とびこむ」を後に続けたのは、「きまった車両のきまったドアの横」を、車内ではなく車外（特にホーム）と捉えたからだと考えられる。JFLでは、このような例が④⑤のほかに1例あったが、JSLには見られなかった。JSLは、与えられた言語情報から、日本の社会での自然な場面をイメージしやすいといえることができる。

(8) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車両のきまったドアの横に立って、日本橋まで通う

- ・ JSL ①道路をながめっている。
- ・ JFL ②、うちへかえりました。
- ③日本橋へ通で、現実の世界に帰りました。
- ④列車をまっている。

<表8>

	名詞を続けたもの		それ以外		
	主格関係をもつ	主格関係をもたない	読点	助動詞	接続助詞
JSL(20)	35.0%	65.0%	0.0%	0.0%	0.0%
JFL(38)	10.5%	71.1%	10.5%	5.3%	2.6%
母語話者(43)	41.8%	58.2%	0.0%	0.0%	0.0%

「通う」の後は、母語話者とJSLでは全て名詞に続く文であったが、JFLでは表のように名詞以外に続く例が見られた。(5)にも現れたように、②のように読点で文を切っているものが4例ある。また、句点や読点がなくとも、意識のうえでは一度文を切って第二文を書いていると見られる③のような例もあった。提示部分が、(5)と同じく終止形と同形で終わっていることに加え、(5)よりもさらに文が長くなっているため、文を切ろうとする傾向がより強く見られる。

また、①④のように「通う」の意味を「通勤・通学」ではなく、「通じている」の意味に汎用していると思われる例が、JSLで3例(15%)、JFLで8例(21%)あり、JFLの方により多く見られる。

(9) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車両のきまったドアの横に立って、日本橋まで通う目の

- ・JSL ①きれいな女の子に会った。
- ・JFL ②不自由な人です
- ③中がいたいそうです。

JFLでは、未記入例が38例中21例、55.3%を占めた。①②のように人を修飾したり人の特徴を描写したものは母語話者では80.0%、JSLでも50.0%あったが、JFLでは②のほかは未完成文1例のみである。後続する語は、「前」(3例)「中」(2例)「涙」「見る」(各1例)であった。

母語話者では「不自由な、悪い、見えない」などを61.0%が予測しているのに対し、JSLは母語話者のように、持っている連語的知識の中からコンテキストに合わせて予測を収束させていくことがなかった。JFLではさらに連語的知識が不十分なため、選択の余地がなく、「目の」に関連した語を使ってとにかく後を続けようとしている様子がうかがえる。

(10) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車両のきまったドアの横に立って、日本橋まで通う目の不自由な女性と

- ・JSL ①犬を見ます。
- ・JFL ②一緒に会社へ行く。
- ③話しました。
- ④毎日新聞に書かれています。

<表9>

	相互動作の相手 (話す)	一緒に	並立助詞	引用	その他
JSL(19)	73.6(42.0)%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%
JFL(35)	62.9(48.6)%	17.0%	11.4%	11.4%	8.6%
母語話者(43)	66.7(28.6)%	16.7%	11.9%	0.0%	4.7%

母語話者、JSL、JFL全てにおいて、「と」を相互動作の相手を導く格助詞ととらえた文が最も多い。学習者ではその内の「話す」を予測したものが半数近くを占めている。母語話者には、「知り合う、知り合いになる」という予測が10例あったが、JSLには1例のみ、JFLにはなかった。この語の知識がなかったと考えられる。JFLに、引用の「と」とった④のような例が3例見られるが、誤用である。また、「と一緒に」という予測がJSLには見られず、母語話者、JFLにのみ見られた。ここでもJSLは、定型表現である「と一緒に」を予測しやすかったと考えられる。JSLに「と一緒に」が用いられないのは、自然な日本人の会話に触れ、「～と行く」のように、「と一緒に」を用いない表現が習得されていること、簡素化のストラジーが働いたこと等が考えられる。

(11) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車両のきまったドアの横に立って、日本橋まで通う目の不自由な女性と毎朝一緒に

- ・ JSL ①通勤していった女性が死んでしまった事を聞いておどろいた。
②なりました。
- ・ JFL ③通勤しました。
④同じ電車に乗っていた。

<表10>

	副詞接続	連体修飾
JSL(19)	84.2%	15.8%
JFL(34)	100.0%	0.0%
母語話者(42)	90.5%	9.5%

連体修飾の形を予測しているものはJSLに最も多く、①のように、文が終わりに近づいていることを予測できないと見られる文があったのに対し、JFLは連体修飾を予測するものがない。(5)や(8)で見られたように文を短く切る傾向にあるJFLは、文が長くなると連体修飾でさらにつなげていくことを避けるという傾向がここでも現れている。③④のように短く簡単な表現が多い。内容を見ると、「通勤する、会社へ行く」等が13例「電車等に乗る」が6例、「話す」が4例、朝食をとるものが4例と、いくつかのパターンに集中している。「通勤する、会社へ行く」「電車に乗る」は提示部分と内容が重複している。母語話者にも同じ内容の例はあるが、「通っていたものでした」「乗り合わせていました」など、表現のバリエーションが豊かで、重複を避ける工夫がある。「一緒になる」は、母語話者で8例、JSLにも1例あったが、JFLには見られなかった。JFLには「一緒になる」という表現の知識がなく、必然的に「通勤する、電車に乗る」など、提示部分と内容が重複した予測にならざるをえなかったのではないだろうか。

(12) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車両のきまったドアの横に立って、日本橋まで通う目の不自由な女性と毎朝一緒になった。

- ・JSL ①今でも、その女性の世話をしています。
 - ②電車の中ではどんな人でも、電車に乗るの気持ちもいっしょになるだろう。
- ・JFL ③いい友達になった。
 - ④どうしてそうしたのですか。
 - ⑤よかったですね。

<表11>

	A子さん	目の不自由な女性	二人	その他
JSL(15)	46.7%	6.7%	26.7%	20.0%
JFL(33)	27.2%	3.0%	42.4%	12.1%
母語話者(42)	45.2%	16.7%	14.3%	23.8%

母語話者、JSLに比べ、JFLでは第二文の主語を二人にしたものが最も多い。これは内容が「友達になった、仲良くなった」等がほとんどであったためと見られる。通勤途上で二人の人物が一緒になったという事実から予測しやすい内容であるとともに、「友達になる」という表現が初級の段階から頻出していて、書きやすかったという理由も考えられる。

「その他」の中には④⑤のように、学習者自身の感想、コメントを述べた文が4例あった。理由として、客観的に事実を述べる文章を書く機会が少なかったことが考えられる。JSLの②もコメントの1種と考えられ、客観的に書こうとしているが書き切れていない文である(注2)。

4 結論および今後の課題

上記の分析結果とその考察から、JSLとJFLの予測について得られた結論は、以下のようである。

- 1) JFLは既習事項についてはJSLよりも母語話者に近い予測をするが、知識のないことを求められると文を続けることも困難になる傾向がある。
- 2) JFLの予測文はJSLの予測文に比べ、文の長さが短い。

結論1)では、(3)における「とき」の表現の多様さや、(4)における報道文体への意識の高さがあげられる。ここでの予測は、JSLよりも母語話者に近いものといえるが、一方で、(5)(6)の「きまった」の意味、(9)の「目の」に続く連語、(11)の「一緒になる」などでは言語知識の欠如が顕著である。誤用や未完成文、未記入例が多いこと、中国語からの借用が多いことも、知識の不足が原因と考えられる。JSLに、JFLほどの顕著な傾向がみられないのは、JSLが、教室内に限らず、さまざまな場面で得られたインプットを、言語知識、言語外知識として活用して予測をしているためと考えられる。

結論2)は、(3)(8)(11)などで連体修飾節が少ないこと、全般にわたって文が長くなってくると不適切な箇所を文を切ってしまうことなどが影響していると考えられる。自然な日本語に接する機会の有無が、文の長さや複雑さに影響を与えていることも考えられる。

今回の実験では以上のような結論が得られたが、これがJSL、JFL全てに当てはまるかどうかは明らかではない。こうした研究を積み重ねることで、JSL、JFLの予測能力の相違点、共通点を特定し、母語話者の予測能力と対照させつつ、予測能力習得の仕組みを明らかにすることが必要であると考ええる。

【注】

- (1) 大野ほか(1996)では、初級学習者が「谷川先生に」のあとに、「～もらう / ～てもらおう」を多く予測している理由を、「『(人)に+～もらう / ～てもらおう』を一つの定型表現として記憶しているからではないか」と推測している。
- (2) 津留崎ほか(1996)では、②のような文を一般的な事実をとりあげたものとしてまとめたが、本稿では、JFLと同様にコメントを述べた文としてまとめるのが妥当と考える。

【参考文献】

- 市川保子(1993)「外国人日本語学習者の予測能力と文法知識」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』第8号 pp. 1-18
- 内田安伊子・池上摩希子・大野早苗・大島弥生・長友和彦(1995)「予測文法研究(1)：『が』と『は』の予測機能について」『言語文化と日本語教育』第9号 水谷信子退官記念号 PP. 134-159
- 大野早苗・堀和佳子・八若寿美子・池上摩希子・内田安伊子・郭末任・許夏珮・長友和彦(1996)「予測文法研究－後続文完成課題からみた日本語母語話者と日本語学習者の予測能力について－」『日本語教育』91号 PP. 73-83
- 菊池民子・天野千春・猪狩美保・嶽肩志江・大島弥生・長友和彦(1996)「予測文法研究－モダリティ表現の予測能力とその習得について－」『言語文化と日本語教育』第11号 PP. 12-25
- 小出慶一(1991)「クローズ・テストは何を測定しているか－クローズ・テストの内的な性質について－」『群馬県立女子大学紀要』第14号 pp. 105-116

津留崎由紀子・中嶋敦子・金志宣・近藤彩・齋美智子・広田妙子(1996)

「『が』と『は』の予測機能について—予測能力における日本語学習者と日本語母語話者の比較—」 平田悦朗編『日本語学習者の文の予測能力に関する研究及び読解力・聴解力向上のための教材開発』平成8年度文部省科学研究費補助金(一般研究B [06451159])研究成果報告書 PP.188-200

寺村秀夫(1987)「聞き取りにおける予測能力と文法知識」 『日本語学』第6巻 第3号 pp.56-68

Oller, J. (1979) "Language Skill as a Pragmatic Expectancy Grammar" *Issue in Language Tests at School*, pp.16-35. London:Longman.

Oller, J. (1983) "Evidence for a general language proficiency factor : an expectancy grammar" *Issues in Language Testing Research*, pp.3-10. New York:Newbury House.

スタインバーグ, D (1988)『言語心理学』国広哲弥・鈴木俊昭訳 研究社出版

【資料】

JSL

文<1>浦和市のA子さん(60)が/都心の/日本橋に通勤していた/ころ、/
きまった/車両のきまった/ドアの横に立って、/日本橋まで通う/
目/不自由な女性と/毎朝一緒に/なった。

- (1) 浦和市のA子さん(60)が
 - 1 病気になりました。
 - 2 寝ている。
 - 3 たばこをすっています。
 - 4 きので命引き取られた。
 - 5 買物をしている。
 - 6 60才になって退社した。
 - 7 しました。
 - 8 スーパーに買い物して行きます。
 - 9 今、息子の結婚問題についてはほんとに心配していた。
 - 10 自分の性格の問題があると思っている。
 - 11 東京へ引越しました。
 - 12 隣のおじいさんときあっています。
 - 13 再婚しました。
 - 14 昨日の事故で死亡しました。
 - 15 仕事をやめる。
 - 16 利口です。
 - 17 旅へ出ました。
 - 18 私のとりの部屋の引っこしてきた。
 - 19 きのうちどい目に会った。
 - 20 細君がなくなつて一人暮らししている。
- (2) 浦和市のA子さん(60)が都心の
 - 1 パスは便利だと言った。
 - 2 森にいます。
 - 3 夜景を眺めています。
 - 4 環境について書かれた論文が今だに高く評価されています。
 - 5 公園でBさんと話しながら散歩をしています。
 - 6 公園で散歩していた。
 - 7 中に住んでいます。
 - 8 公園に遊びに行きます。
 - 9 結婚相談所を探して、都心に向かって、車に乗って、出発した。
 - 10 生活をしている。
 - 11 会社につとめています。
 - 12 夜影を眺めています。
 - 13 おじいさんと再婚しました。
 - 14 アパートに住んでいます。

- 15 どこかに引越した
- 16 ホテルに泊っています。
- 17 にぎやかさが好きでデパートに行って散歩しました。
- 18 都会がよく分からないって私に聞いた。
- 19 中心に住んでいるから、たまにあることだそうです
- 20 まんなかに一戸建てにすんでいる。

- (3) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していた
 - 1 が新宿に転勤した。
 - 2 と言ったんですが
 - 3 がとしのせいで辞任させられました。
 - 4 時、彼女の上司である田中さんはつぎのように語った。
 - 5 ある日、昔の彼と出会った。
 - 6 時、10年ぶりに友達を会った。
 - 7 それで毎日交通料がたくさんかかります。
 - 8 時、おおきなじしんがありました
 - 9 その日天気は悪くて雨が降りそうだった。
 - 10 ことがある。
 - 11 会社にまた戻りました。
 - 12 おじいさんを偶然に会いました。
 - 13 おしゃれなおじいさんと再婚しました。
 - 14 会社はつぶれたそうです。
 - 15 いまごろごろしています。
 - 16 時だ。
 - 17 が、家は八王子なので毎日一間の電車に乗らなければなりませんでした。
 - 18 のだから通勤時間がすこくかかるので困っていると苦情を語っている。
 - 19 会社のどうりょうときのうのばん飲みに行った。
 - 20 が毎日満人電車が本当にやだと思っている。
- (4) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、
 - 1 とても親切な人に会いました。
 - 2 出会ったことがあります。
 - 3 会社のためことだったらいつもわんしゃんだが・・・
 - 4 もう彼女は病気とのたたかいでつかれていました。
 - 5 病原性大腸癌の0-15だった。
 - 6 昔の恋人を思い出した。
 - 7 電車事故がおきた。
 - 8 おくさんがあかちゃんを生みました。
 - 9 前から傘を持って歩いて来る子供を見つけた。急に雨が降り始めた。彼女の前で、子供がかわいそうに、雨に降られながら走っていた。彼女は走ってその子供を呼び立った。彼女が子供と何か話をした。そして、子供に自分の傘をくれた。それをAさんは車の中で全部見った。
 - 10 は自分の性格に問題があると思わなかった。
 - 11 彼は課長でした。

12. 遠くから昔の恋人に会いました。
13. いいおじさんに出会いました。
14. 今の夫のBさんと知り合った。
15. スーパーへ買物に行った。
16. 交通事故にあっってしまった。
17. 星休みに近くのラーメン屋さんで昼ごはんを食べる習慣がありました。
18. たまたま道でむかしの友人のKさんにあってびっくりした。
19. 飲みすぎでふらふらあるいたんだ。
20. 夢を持って毎日精一杯はたたらいた。

(5) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった

1. 時間にお茶を出してくれるやさしい人がいた。
2. 時間にいつもこの公園を通ります。
3. 計画がありました。
4. 道、つまり、命がこれから2か月しかのこっていないということはみんなに
shotであつた。
5. 時間に到着しなければならなかつた。
6. バスにのつていった。
7. ことがあつた。
8. 事はアメリカに留学する事でした。
9. 彼女が自分の息子の奥さんになるには適当すると思った。A子さんは道の
そばで車を止まておく後、傘を持って彼女に來た。彼女の好意心を取るた
め。
10. 彼の性格は。
11. 婚約者がいました。
12. 公園を通りました。
13. ことももしれない。
14. ように毎朝ジラフコーヒショーで朝食をしていた。
15. 駅にたつていた。
16. 映画を見に行きたくなくなつてしまつた。
17. 店に食べがちでした。
18. 時間に電車を乗ることにしている。
19. 事をやると思つたら。
20. ことは一つあつたをさうです。

(6) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった

- 車面のきまつた
1. 人達に会います。
 2. 座席に座ります。
 3. せきにいつもすわつていました。
 4. 席にかけるのが彼女のしゅうかんだった。
 5. 座席に座つていた。
 6. 座席に座つた。
 7. せきしかすわない。

8. 座席にすわつた事があります。

9. ラジオは沈黙していった。彼女に歩いて行くA子さんの心には期待に満ち
つていた。
10. 席のようにかたたく・・・。
 11. 運転手がいました。
 12. 人々に会いました。
 13. せきにすわつていました。
 14. 座席で恋人を待っていた。
 15. 席をすわつていた。
 16. 方がわかりません。
 17. のドアで立つて窓から外へ見ながら乗りました。
 18. せきにすわるのだからいつも会う人もほとんど同じだ。
 19. 時間にこなかつたのでいらいらした。
 20. 場所ですいつも本をよむことにしたをさうです。

(7) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった

- 車面のきまつたドアの横に立つて
1. 窓をながめるのが好きだつた。
 2. 外を見ます。
 3. 新聞をよみました。
 4. いつも新聞を読むことによつて彼女の一日が始まつた。
 5. 何かを読んでいた。
 6. 新聞を読んでいた。
 7. 新聞をよみます。
 8. 新聞を読みました。
 9. 知らない人がその二人を見ていた。
 10. 自分の性格についてしんけんに考えている。
 11. いつも本を読みました。
 12. たまに横の人の顔を見ました。
 13. きまつたラジオ番組をきいていました。
 14. いた一人の若い男性は一目ぼれられた。
 15. 風をふつていた。
 16. サンキーのいさんにぶつたかわれてしまつた。
 17. 外の景色を見ながら仕事について色々考えました。
 18. たつたまま寝るのみにちしようたはんど。
 19. いつかきつくとくと思いがらたのしみにしていった。
 20. 本をよんだらきもちがよかつたをさうです。

(8) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまつた

- 車面のきまつたドアの横に立つて、日本橋まで通う
1. 人に会つてあいさつをしました。
 2. 人達を観察している。
 3. 道路をながめていいる。
 4. 男の人とのであいができた。

- 5.はずだったが、その電車に間に合わなかった。
- 6.電車をまどから見た。
- 7.つもりだ。
- 8.ある日、すりをされました。
- 9.バスを待っている人だった。
- 10.時、いよいよ自分の性格の問題を気がついた。
- 11.他の人といつも出会いました。
- 12.おじいさんと挨拶を交わしました。
- 13.花子さんと一緒に行きました。
- 14.同僚を待っていた。
- 15.帰っています。
- 16.つもりがあったのに、ヤンキーのいちやんは予定を覚えてしまっって…。
- 17.ことにようやくごりごりできたまに車で行くことにした。
- 18.ことはたいへんなことだった。
- 19.時の思い出を思い出しながら…。
- 20.のが毎日のしめられたそうです。

(9) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車面のきまったドアの横に立って、日本橋まで通う目の

- 1.きれいな女の子に会った。
- 2.悪い人が目を通じて本を読んでいる姿を見ます。
3. ●
- 4.新しいアメリカ人と友達になった。
- 5.不自由な方に空間をゆずった。
- 6.不自由な男と犬を見た。
- 7.おんなのひととききます。
- 8.習慣が、今日まであります。
- 9.前の目転目より、雨の日ではバスを理用する人のようだった。Aさんはその人に気があわなくて彼女が行った。Aさんは傘をあけながら彼女に話しをかけた。でも、彼女は気があわないうれすにすれ違っで行った。
- 10.問題が、ある人と会った。
- 11.上の人といつも出会いました。
12. ?
- 13.大きいおじいさんとあったんです。
- 14.前のサラリーマンの瘦れた姿を見ていつも気の毒に思っていた。
- 15.の前に風景を見ていた。
- 16.上人は亡くなってしまった。
17. ?
- 18.悪い人が私の目に止まった。
- 19.あった。
- 20.たのしみは毎日つものるのは

(10) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車面のきまったドアの横に立って、日本橋まで通う目の不自由な女性と

- 1.すてきな女の人といっしょにいるのを見ました。
- 2.犬を見ます。
- 3.はなしました。
- 4.けんかになっちゃった。
- 5.知り会った。
- 6.話をした。
- 7.話しなからこころから愛しよとおもいます。
- 8.会って話したことがあります。
9. -あきらめる-
- 10.話した。
- 11.話をしました。
- 12.話したりしました。
- 13.話してみたかったです。
- 14.出合った。
- 15.きれいな女性です。
- 16.彼女の犬は宇宙人に誘拐されてしまった。
- 17.話しました。
- 18.声をかけて見ようかと思った。
- 19.ぶつかってしまっって本当にこめんの感じた。
- 20.ぶつかってある日の話である。

(11) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車面のきまったドアの横に立って、日本橋まで通う目の不自由な女性と毎朝一緒に

- 1.なりました。
- 2.歩んでいる犬を見ます。
- 3.生活についてはなしました。
- 4.朝食を食べた。
- 5.同行した。
- 6.会った。
- 7.話します。
- 8.通勤しました。
9. ●
- 10.話したおかげで、彼は自分の性格の問題について気がついた。
- 11.おかしな食べました。
- 12.降りました。
- 13.同じ電車ののったんです。
- 14.出通するようになった。
- 15.食事する。
- 16.アソマンを食べました。
- 17.おりました。
- 18.話し合うことになった。
- 19.通勤していった女性が死んでしまった事を聞いておどろいた。
- 20.ならんでたっていくことになった。

(12) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通動していたころ、きまった車柄のきまったボアの横に立って、日本橋まで通う目の不自由な女性と毎朝一緒になった。

1. 二人きのうじこにあって、今しらべられている。

2. でも、何の話もしなかった。

3. ●

4. あの二人はすぐ友達になってしまった。

5. その時いきなりその目の不自由な女性の目が開いた。

6. でも、Aさんはその目の不自由な女性と話ことしかできなかった

7. 毎朝すこしずつその女性と愛して結婚するようになりました。

8. 彼女と結婚してしあわせに生活しています。

9. ●

10. そして、彼の性格は変わった。

11. 二、三年が経った後、本当に仲よい友達になった。

12. なかった。(次の用紙) ことはいい事案です。

13. 電車の中ではどんな人でも、電車を乗るの気持ちもいっしょになるのだから。

14. 今でも、その女性の世話をしています。

15. とどこでいまななかった。

16. 若者の身体障者への思いやりがなくなったのに対して、Aさんは感情をこめて、ささやかな力で何かやってあげたい気持はありがたい。

17. 最近は障者に対する意識が変わって、障者も人の小さな助けがあれば、普通の人と同じく生活できることに目ざまし始めた。

18. Aさんが長い間、不自由な女性を助けました。

19. お二人は気が合ったのですぐしたい友達になったそうだ。

20. その人の縁が

JFL

(1) 浦和市のA子さん(60)が

1. なくなりました。
2. ●
3. 関東地方に住んでいる
4. 家で突然に死亡を発見しました。
5. 教師です。
6. 作る料理はおいしいそうです。
7. 元気です。
8. とてもやさしいです。
9. 仕事をやめた人です。
10. 子供と一緒にすんでいる。
11. 一人で中国へ旅行に行った。
12. 宝じをあたりました。
13. しにました。
14. どちらほうに殺された。
15. はいゆうです。
16. ●
17. 事故で被害してしました。
18. 英語を習っています。
19. 学著博士の氏名をもらいました。
20. 国際会議参加しました。
21. 昨日結婚しました。
22. みつかった。
23. しんでしました。
24. しんでいました。
25. 誕生日には
26. きのう自宅で殺された。
27. いま
28. いますか。
29. 大きな部屋に住んでいます。
30. 私のいい友達です。
31. 今年学校へいくはじまりました。

32. おおきな家にすんでいます。

33. 書いた手紙はとても長いです。

34. よく健康です。

35. まだ元気だそうです。

36. 外国に行きました。

37. ●

38. ころされました。

39. 子供のおじさんです。

40. ●

41. 彼女のすむところは

42. 自分で住んでいる

(2) 浦和市のA子さん(60)が都心の

1. 高層ビルからとびおりました。

2. ●

3. まわりに長子と住んでいる

4. 交通の交差点に車で* (手偏に置) れました。

5. フンションで住んでいます。

6. ところに住んでいる

7. 中で働いた。

8. 会社で仕事をしています。

9. 北で住んでいます。

10. 部屋ですんでいます。

11. ショーペンダセンターで商売をしている

12. ラパートへ買物しにいきました。

13. アパートに住みました。

14. 都心の銀行でどろぼうに殺された。

15. アパートで住んでいます。

16. ●

17. ビルで

18. 公園で散歩しています。

19. 病院でなくなりました。残念です。

20. 道路計画を発表しました。

21. 一番高級のホテルで結婚披露宴をやりました。
 22. まわりところ
 23. そごうデパートで買物をしました。
 24. 付近へいった。
 25. 喫茶店へ行った。
 26. 高速道路で車にぶつかされた。
 27. 近くにすんでいる。
 28. 家にすまられた。
 29. 有名な会社で働いています。
 30. 住民です。
 31. 村へいく。
 32. レストランへ行きました。
 33. ところへ行った時はとてもにぎやかだった。
 34. 所で住んでいる。
 35. 小学校で教師している。
 36. デパートにすんでいます。
 37. ●
 38. ビルで働きます。
 39. 近(ちが)いにすんでいます。
 40. ●
 41. ちがいでところで
 42. デパートで住んでいる。
- (3) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していた
1. ところにある女性の遺体を発見しました。
 2. ●
 3. 年寄りだ
 4. 時に不注意的に車で*(手偏に重)れました。
 5. この電車がとても込っていた。
 6. ことは大変だと思う。
 7. ので、その辺の環境をよく知ってる。
 8. 毎日電車を乗りました。
 9. 時、いつも退社以後小川浴場へいきました。

10. 日本橋に通勤していたBさんと一緒にすんでいる。
11. から、あそこのことをよく知っている。
12. ところに、じしんをおこりました。
13. 銀行の社長でした。
14. 時にバスにころはれた。
15. ところに車に倒られました。
16. ●
17. ところ
18. ことがあります。
19. 時に*(不明)をした。
20. 山口さんに会いました。
21. Bさんと結婚しました
22. 人とあつた
23. 時に交通事故を見ました。
24. くるまがおそくなつた。
25. として、かいものをした。
26. 事務室員山田さんに腕をうたれた。
27. あいだ
28. 人にとろされた。
29. 時に強い地震がありました。
30. 会社員です。
31. ことがある。
32. 来週、退休するだろう。
33. わかい女の子にあつた。
34. 人です
35. 退職婦人だ
36. ことがあります。
37. ●
38. 会社員です。
39. 毎日九時から5時まで働きます。
40. ●
41. 時には
42. ところには

(4) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、

1. 自動車にひかれました。
2. ●
3. 地震があつて、重した。
4. 不注意的に車で*手偏に撞)れました。
5. 彼女の学生に会いました。
6. 事故があいきました。
7. 友達がたくさんあつた。
8. 私と偶然会いました。
9. 今喫茶店の店頭にりました。
10. 毎日六時におきるきでした。
11. おすしの弁当をよ食べていた。
12. 交通警官によられ、車をやめさせられた。
13. 銀行の社長でした。
14. バスにころばれた。
15. 車に倒れられます。
16. ●
17. 突然に
18. となりの子供と会しました。
19. 突然心臓病が発作ます、してしまいました。
20. 殺人事件を見ました。
21. 十度もお客さんのをたすけた事があります。
22. よく屋ごはんを食に行つたところは
23. バスの交通事故をました。
24. 交通事故があつた。
25. 中学時代の友達にわたりあつた。
26. 爆弾を発見した。
27. そして
28. 部長としていて
29. A. さんは幸に受けることはあまりなかつた。
30. 毎日居酒屋に行つた。
31. 陳さんと会います。

32. 毎日バスにのりました。

33. バスをまっていた。
34. 立派な商人だと言われた。
35. 交通事故があつた。
36. いつも友達といつしよにいきました。
37. ●
38. 殺されました。
39. 大地震があります。
40. ●
41. いろいろな人を
42. 交通じゆうだいがある。

(5) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまつた

1. ゆき先を変えて、ほかのころへいききました。
2. ●
3. 計画を実行するはずだと思ひ出した。
4. ところでおうだんしなかつたからだ。
5. 退社して、スーパーマーケットへ行つた。
6. 仕事を退職した。
7. もう一會都心へいつて、友達とあうつまりです。
8. 仕事をやめてきまつた
9. 将来小売店を経営します。
10. 将来は一度中国へ旅行に行くべきです。
11. 時間にラジオのニュースを聞くことにした。
12. 場所へ行つた。
13. あとで、仕事をやめました。
14. あとで、郵便局によつて行つた。
15. 計画は記者に教えてあげました。
16. ●
17. 日取り
18. ことをしました。
19. 何もしませんでした。
20. 計画を実現になりました。

21. バトナーと一緒に二十年ぶり同仕しました。
22. 志望は
23. 仕事をキャンセルしなかったです。
24. しんかんせんにのらなかった。
25. ?
26. 時間に食堂～昼食を食べに行た。
27. 時間に出かけました
28. ?
29. 外の地方に住んだほうがいいと思われていました
30. ことがどんなに難しくても一生懸命しました。
31. 計画をする。
32. 計画はいつも成功しました。
33. 必ずこの結婚式を考えたい。
34. 事務室がなかった
35. ことをもう一度考えてみた。
36. ことはもう一度考えました。
37. ●
38. 計画をやっていた。
39. ことを忘れしました。
40. ●
41. 計画は
42. ことは
- (6) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車庫のきまった
1. 座席にすわりました。
2. ●
3. ?
4. 時間に会わなかった。
5. ?
6. ?
7. ?
8. ことだ
9. ?
10. ?
11. 席ですわった。
12. までのそばにすわった。
13. ?
14. ?
15. 席ですわりました。
16. ●
17. 運転許可証
18. お客さんと会いました。
19. あつくなりました。
20. カースの量を知らせました
21. 席に毎日座っていました。
22. 数量
23. ?
24. 座位にすわった。
25. 地方へ行った。
26. 席に座り込んだ。
27. 通うところ
28. 席
29. ?
30. 席に座った。
31. 路なかにたって
32. 座にすわっていました。
33. 路線
34. * * (不明) を任命させた。
35. 月台 (注: 広東語の「プラットフォーム」の意) が見つからなかった
36. ところにすわっていました。
37. ●
38. 料理をたべていました。
39. 友達をあいします。
40. ●
41. 重量は

42.数字は

- (7) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車庫のきまったドアの横に立って
- 1.ついに、鉄路に飛びこんでしまいました。
 - 2.●
 - 3.死んだ後はどこへ行くと思いついた
 - 4.思わぬある車が彼女の方向にむかってきた
 - 5.子供ごころのことを思い出します。
 - 6.自分の将来を考えていた。
 - 7.風景を見る。
 - 8.新聞をよみました。
 - 9.新宿駅におりました。
 - 10.仕事をしました。
 - 11.新聞を読むことにした。
 - 12.新聞をよみました。
 - 13.風景を見ました。
 - 14.窓の外の風景を見ついています。
 - 15.います。
 - 16.●
 - 17.待っている
 - 18.息子を待つていました。
 - 19.なくなりました。
 - 20.鈴木さんに会いました。
 - 21.もう四十年になりました。
 - 22.いたのはしません
 - 23.いた時に交通事故を見ました。
 - 24.本をよんでいた。
 - 25.ひるご飯をたべた。
 - 26.弁当を食べていた。
 - 27.いて
 - 28.誰かをまつているようだ
 - 29.いる時、昔の映像は全部思い出しました。

- 30.自殺をするつもりでした。
- 31.ラジオを聞いた。
- 32.新聞をよみました。
- 33.しかられた。
- 34.しました。
- 35.電車をまつていた。
- 36.、ほんをよみました。
- 37.●
- 38.何を心配していた。
- 39.本をよみます。
- 40.●
- 41.阻* (石橋に“疑”) します。
- 42.いる。

- (8) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった車庫のきまったドアの横に立って日本橋まで通う
- 1.途中、
 - 2.●
 - 3.電車にひとりで乗りました。
 - 4.習慣がある。
 - 5.日本橋まで通で、現実の世界に帰りました。
 - 6.会社へ行きました。
 - 7.、昔のことを思い出す。
 - 8.所で車を降った。
 - 9.バスをのりだいです。
 - 10.くぐるまのりようをきろくしました。
 - 11.仕事をしつた。
 - 12.、つぎのえきをおりました。
 - 13.つぎの駅におりました。
 - 14.ことにします。
 - 15.んです。
 - 16.●
 - 17.電車

18. バスをまっています。
 19. うちへかえりました。
 20. つもりです。
 21. 毎日でした。
 22. 列車をまつ
 23. 友達をあいしました。
 24. 時に、友人をみた。
 25. とき、外の風景はきれいと思った。
 26. 途中で
 27. つもりでしたが
 28. 列車をまっています。
 29. ことはできなかった、そうして歩いて通勤しているの会社へいきま
 30. 乗客でした。
 31. つどの村へいきたいです。
 32. 規則を反対しました。
 33. 友達にあつた。
 34. べきだった。
 35. 電車に乗つた。
 36. あいたはもうさん頁をよみました。
 37. ●
 38. と、おりました。
 39. そうです。
 40. ●
 41. ことが反対して
 42. 人人は
- (9) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまった
 車面のきまったドアの横に立って日本橋まで通う目の
 1. 今朝、
 2. ●
 3. ●
 4. ●
 5. ?

6. ?
 7. ?
 8. ?
 9. ●
 10. ?
 11. ?
 12. まえに見ることは信じられなかった。
 13. 駅におりました。
 14. 駅で降りることに決めていきます。
 15. 中がいたいそうです。
 16. ●
 17. あつた
 18. 涙が流しました。
 19. かわつてつづけるの世界がみま
 20. ?
 21. 不自由な人です
 22. 表情/顔
 23. ?
 24. まえに友人が現れた。
 25. ?
 26. ?
 27. 違いので
 28. ?
 29. 中で全部新しく洋式な売店と部屋です。
 30. 一人です。
 31. まえに、陳さんとあいました。
 32. ?
 33. ものです。
 34. 中で
 35. ?
 36. ?
 37. ●
 38. 景がすきです。

- 39. そばで財布を落ちます。
- 40. ●
- 41. ところで
- 42. 見る方向

(10) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまつた車両のきまつたドアの横に立って日本橋まで通う目の不自由な女性と

- 1. 話し合いました。
- 2. ●
- 3. ●
- 4. ●
- 5. 座っていました。
- 6. 一緒に会社へ行く。
- 7. 会って、話しました。
- 8. 話しました。
- 9. ●
- 10. 話した。
- 11. 友達になった
- 12. けんかしました
- 13. 会いました。
- 14. 話しました。
- 15. 話しました。
- 16. ●
- 17. 見ている
- 18. 一緒にあるきました。
- 19. 話します
- 20. 一緒に会社へ行きました。
- 21. 毎日新聞に書かれています。
- 22. 自由な女性
- 23. はなしました。
- 24. 話した。
- 25. 話した。
- 26. 話し合うようになった。

- 27. 一緒に
- 28. 一緒に日本橋に行く。
- 29. 話した。

30. 言う人です。

- 31. 会います。
- 32. 話しました。
- 33. 話した。
- 34. 一緒に
- 35. 話した。
- 36. はなします
- 37. ●
- 38. はなしていた。
- 39. 話します。
- 40. ●
- 41. 無視されて人も
- 42. 男性

(11) 浦和市のA子さん(60)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまつた車両のきまつたドアの横に立って日本橋まで通う目の不自由な女性と毎朝一緒に

- 1. 景色を見ながら、話し合います。
- 2. ●
- 3. ●
- 4. ●
- 5. 通勤します。
- 6. 通勤します。
- 7. 通勤しました。
- 8. 通勤します。
- 9. ●
- 10. 話した。
- 11. 会社まで行った。
- 12. おなじ車両にのりました。
- 13. 話しました。

14. 電車で会社へ行っています。
15. 朝ご飯を食べています。
16. ●
17. まっている
18. 散歩していました。
19. 通勤の場所へいきました。
20. 会社へ行きます。
21. 電車に乗っていました。
22. 列車をまたぐない。
23. この電車にのるので、いつもはなしていました。
24. 同じ車両に立っていました。
25. そのような話をした。
26. 各自の体験を話し合っている。
27. 通勤している。
28. 日本橋まで通っている。
29. 毎朝一緒にご飯を食べました。とても、楽しかった。
30. 会社に行った。
31. 隣の村へいく。
32. 会社へ行きました。
33. バスにのった。
34. 仕事へ行った。
35. 同じ電車に乗っていた。
36. かいしゃにいきます。
37. ●
38. 朝食をします。
39. あさごはんを食べます。
40. ●
41. デーモに参加します。
42. 自動車を乗る。

(12) 浦和市のA子さん(50)が都心の日本橋に通勤していたころ、きまつた車両のきまつたドアの横に立って日本橋まで通う目の不自由な女性と毎朝一緒にあった。

1. しかし、Aさんは夕晩になくなった。

2. ●

3. ●

4. ● 彼女と仲良しになった。

5. 彼女と仲良しになった。

6. いい友達になる。

7. いい友達になりました。

8. 友達になった。

9. ●

10. でも、いまはそうすることはなくなった。

11. ?

12. そして、べつべつにおりって、いきました。

13. いい友達になった。

14. 大切な友達になりました。

15. 今朝、その目の不自由な女の人は会いませんでした。困りました。

16. ●

17. どうしてそうしたのですか。

18. 縁がある訳だっと思いました。

19. いい友達になりました。

20. Aさんは、この女性はだれですかという質問をきかれています。

21. 二人はいい友達になりました。最近Aさんが亡くなったので、彼女はとつてもかなしくて病気になるしました。

22. Aさんは今日本橋のちかくにさんでいる。

23. 一底、彼女はどんなひとですか。

24. 友達になった。

25. 楽しかった。

26. 時日を過ごす、友人になった。

27. 浦和さんは

28. 仲がよい友達になった。

29. 一月過ぎ、この女性と結婚してなった。

30. いま、これを出すのは、浦和市のAさんにとって重宝です。

31. 友朋になりました。

32. よかったですね。

33. いい友達になった。

34. その女性はずですか。

35. いい友達もなった。

36. もうすぐその女性とやくそくがあります。

37. ●

38. この女の子はAさんの友達です。

39. 楽しみです。

40. ●

41. これからつづけています。

42. このような場合は